

# 「中国ICTイノベーション創出セミナー」を開催

～ICTを活用した新事業による地域発イノベーションを目指して～



〔主催者挨拶〕

中国超高速ネットワーク連絡協議会  
相原座長



〔特別講演〕

プロフェッショナル・コネクター  
勝屋久氏



〔SCOPE事例発表〕①

島根大学医学部 小野田講師



〔SCOPE事例発表〕②

山口大学大学院 松野教授



〔SCOPE事例発表〕③

山口大学農学部 山本教授



〔「JGN-X」利活用紹介〕

NICT 小村専門調査員



セミナー会場の模様



セミナー修了後に勝屋氏  
とつながる講師たち



＜勝屋氏の水彩画による  
オープニングスライド＞

中国総合通信局(局長:齊藤一雅)は、中国超高速ネットワーク連絡協議会(以下、「協議会」)及び中国情報通信懇談会との共催により、「中国ICTイノベーション創出セミナー」を平成26年2月26日に広島市内で開催し、ICT関連企業、研究機関、行政機関などから57名の参加がありました。

本セミナーは、(独)情報通信研究機構(NICT)のICTベンチャー支援施策メンターによる特別講演、総務省のICT研究開発のための競争的資金「SCOPE」を活用した研究成果の社会実装事例の紹介及び新世代ネットワーク実現に向けた「研究開発用テストベッドネットワーク(JGN-X)」による研究開発事例等の紹介を通じて、ICTを活用した事業化を促進し、地域からのイノベーションの創出を図ることを目的として開催したものです。

講演に先立ち、協議会の相原座長(広島大学 情報メディア教育研究センター長)が、「今日は、ICTによる様々な分野のイノベーション創出という観点から、専門家による講演等をしていただきます。本日のセミナーが皆様にとって有意義な情報提供になれば幸いです。」と挨拶されました。

最初に特別講演として、「プロフェッショナル・コネクター」という職業を自ら創造し、ベンチャー支援活動を行っている勝屋氏から、『人と人のつながり』をテーマに、様々なエピソードを交え、「コミュニケーションの方法を変えればビジネスの成功にもつながる良いエネルギーを得ることができる。」というお話がありました。

続いて、SCOPE研究成果の社会実装事例として、島根大学医学部の小野田講師から、「認知症スクリーニングアプリ『CADi』」について、山口大学大学院理工学研究科の松野教授から、「汎用無線技術とタブレット端末等を使った被災情報提供システム」について、同じく山口大学農学部の山本教授から、「スマートフォンによる安全な避難路の3D誘導ツール」について、それぞれの研究成果を地域へ還元する取り組みが紹介されました。

最後に、NICTの小村専門調査員から、「JGN-X」の中国地域での利用促進を図るため、「JGN-X」を利用した研究開発の事例紹介や利用のための手続・方法が説明されました。

中国総合通信局では、これからも中国地域からのICT利活用によるイノベーションの創出を促進するため、様々な取り組みを行ってまいります。

＜問い合わせ先＞中国総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課 082-222-3483